

経営比較分析表（令和5年度決算）

秋田県 八峰町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	0.63	100.00	3,140

人口(人)	面積(k㎡)	人口密度(人/k㎡)
6,301	234.14	26.91
処理区域内人口(人)	処理区域面積(k㎡)	処理区域内人口密度(人/k㎡)
39	231.14	0.17

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率は100%を超えており、健全であるものの、R6年度から法適化したことにより、人件費や減価償却費などの支出が増加するため、このまま健全度を維持できるよう努める。
④企業債残高対事業規模比率は改善しており、R7年度には起業債の償還が修了する見込み。
⑤経費回収率は類似団体平均を上回っているものの、経年劣化による設備修繕が発生する見込のため、今後も適正な料金設定により収入の確保に努める必要がある。
⑥汚水処理原価は類似団体平均並みとなっており、今後も維持管理費の節減に努め、改善を図る必要がある。
⑦施設利用率は類似団体を下回っており、効率的な処理施設の在り方、ダウンサイジングの検討が必要である。

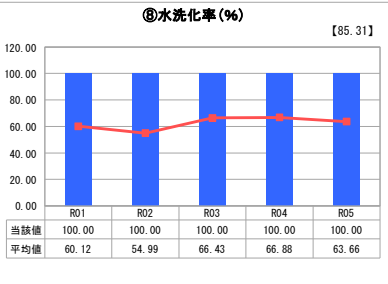
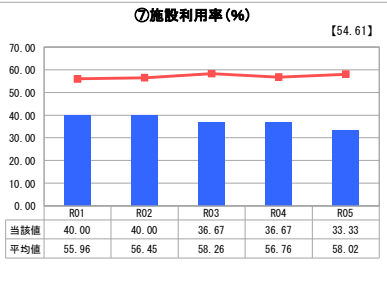
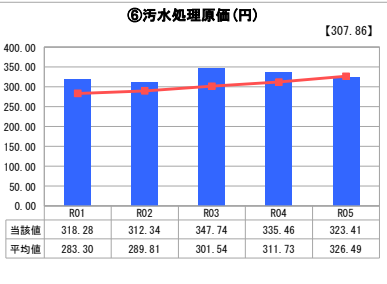
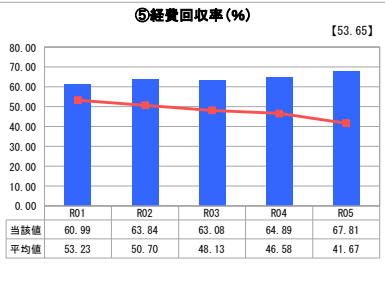
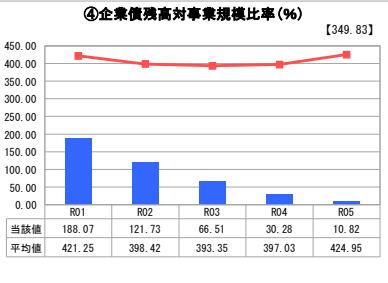
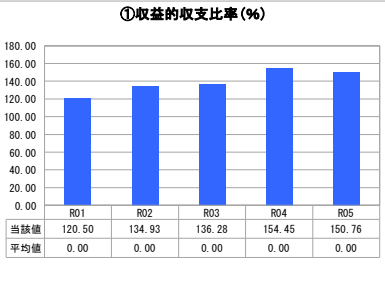
2. 老朽化の状況について

一般的な浄化槽本体の耐用年数は30年であり、事業着手が平成22年度であるから、現状の老朽化対策は不要であるが、機械設備の修繕が必要なものもあることから、修繕計画による適切な修繕を行っていく。

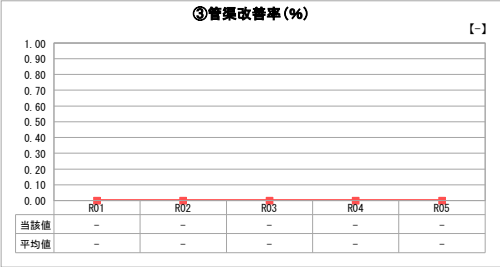
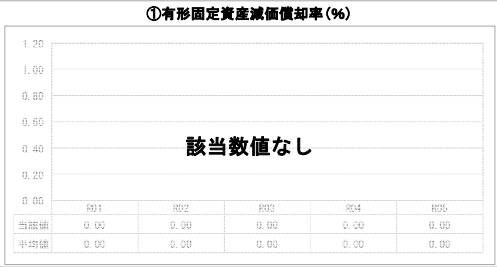
全体総括

全体としては安定的な経営状況と言えるが、R6年度から法適化したため、収益と経費の状況の変化を見極め、持続可能な経営を目指していく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。